



第 1192 回例会報告

平成 22 年 9 月 16 日(木) 雨

会長挨拶

会長 長崎政直

教育勅語について

「ロータリーの友」9月号に、東京大井のロータリアンで三橋七郎さんという方が、「教育勅語の大切さ」という一文を載せています。

教育勅語は「朕惟フニ我カ皇祖皇宗國ヲ肇ムルコト宏遠ニ徳ヲ樹ツルコト深厚ナリ我カ臣民克ク忠ニ克ク孝ニ億兆心ヲ一ニシテ世世厥ノ美ヲ濟セルハ此レ我カ國體ノ精華ニシテ教育ノ淵源亦實ニ此ニ存ス爾臣民父母ニ孝ニ兄弟ニ友ニ夫婦相和シ朋友相信シ恭儉己レヲ持シ博愛衆ニ及ホシ學ヲ修メ業ヲ習ヒ以テ智能ヲ啓發シ徳器ヲ成就シ進テ公益ヲ廣メ世務ヲ開キ常ニ國憲ヲ重シ國法ニ遵ヒ一旦緩急アレハ義勇公ニ奉シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ是ノ如キハ獨リ朕カ忠良ノ臣民タルノミナラス又以テ爾祖先ノ遺風ヲ顯彰スルニ足ラン斯ノ道ハ實ニ我カ皇祖皇宗ノ遺訓ニシテ子孫臣民ノ俱ニ遵守スヘキ所之ヲ古今ニ通シテ謬ラス之ヲ中外ニ施シテ悖ラス朕爾臣民ト俱ニ拳々服膺シテ咸其徳ヲ一ニセンコトヲ庶幾フ 明治二十三年十月三十日 御名御璽」というものです。

明治政府によってつくられ、明治23年に公布されたもので、国民の培うべき徳行を説くものです。当クラブでも、尾上さん、岩村先生、溝口先生達は、これを暗記し、人生の指針にされてこられた時期があったと思います。

それは、12の徳目によって構成されています。
①親に孝養をつくそう(孝行) ②兄弟・姉妹は仲良くしよう(友愛) ③夫婦はいつも仲むつまじくしよう(夫婦の和) ④友だちはお互いに信じあって付き合おう(朋友の信) ⑤自分の言動をつつしもう(謙遜) ⑥広く全ての人に愛の手をさしのべよう(博愛) ⑦勉学に励み職業を身につけよう(修業習学) ⑧知識を養い才能を伸ばそう(知能啓発) ⑨人格の向上につとめよう(徳器成就) ⑩広く世の人々や社会の

ためになる仕事に励もう(公益世務) ⑪法律や規則を守り社会の秩序に従おう(遵法) ⑫正しい勇気をもって国のため真心を尽くそう(義勇)

確かに、これらの12項目は、人間が良く生きていく上で、大切なことだと思います。先週お話ししたボーイスカウト、ガールスカウトの「スローガン」「約束」「誓い」「掟」、さらには私たちのロータリーの理念につながる徳目であり、戦後教育が疎かにしてきたと言われている「道徳」に関わる事です。

三橋さんは、この教育勅語の復活を切に願っておられるようです。また、世間にはそうした意見はたくさんあるようです。でも、問題視する人も多くいます。

梅原猛という哲学者がいますが、やはり、戦後教育の中で欠落した道徳教育の必要性を唱えられています。しかし、教育勅語という形での復活には反対のようです。その理由は、聖徳太子の時代に仏教が日本に渡って来て、江戸時代までに、儒教の教えも加わって、日本人の道徳観が培われてきたのに、明治新政府の「神になった天皇制(国家神道)」で、仏教、儒教を排斥し、以降、時の権力者が、普遍的な真理、博愛、義勇を背景にして、国民を鼓舞し、動員し、日清、日露、第1次・第2次世界大戦と、戦争に駆り立てたあたりに間違いがあると考えておられるようです。

ともあれ、親殺し、子殺しなど様々な事件が多発する現代です。「人間はいかに生きるべきか」とい

■ニコニコBOX

24名 25,000円
累計 336,000円
目標額 130万円
達成率 25.8%

■今週のことば

本日は臆面もなくお邪魔させていただきました。宜しく願いいたします。
山谷恭博

■出席報告

会員数 35名
出席対象 35名
出席者数 27名
出席率 77.1%
前回修正 80.0%

■次回のプログラム

10月7日 職業奉仕
自己研鑽道場



う道徳が、「自分がして欲しいことを他者にしてあげ
る。自分がして欲しくないことは、他者にしない」
という「他者への共感」をベースにして、再確認す
る必要に迫られているような気がしています。徳目
の源は、私たちの生き様、心のありようの中に見つ
けられる気がします。

新世代活動月間に合わせ、道徳教育についてお話
させていただきました。

◇幹事報告◇

1. 以下の文書を受領いたしました。

①ウィークリー（諏訪大社・茅野）

伊那ロータリークラブより 10月24日（日）アクターミティ
ンク出席要請書

②県教育委員会「総合的な学習の時間代表主事（植
松航一朗氏）」より 11月17日開催の総合的な学
習の時間コーディネーター養成講座へ講師3名の派遣依
頼書

③国際ローターより「2011年RI国際大会にて選挙さ
れるRI理事を選出する第2ゾーン指名委員会への
推薦」依頼書が会長宅へ郵送されてきました。配
達受領日9月10日 推薦締切日9月1日のため
対応致しません。

2. 連絡事項

①会費の納入は振込料免除（諏訪信用金庫扱いの
場合）です。振込料を支払われた方はお申し出下
さい。諏訪信用金庫殿にお伝え致します。

1192回例会報告

CLP 特別委員会 三村昌暉

本日は諏訪大社ロータ
リークラブの山谷恭博会
員をゲストにお迎えし C
LP を実施した先駆者とし
ての卓話をいただきます。

人間的にも大変素晴ら
しい山谷会員の卓話を良く
理解し諏訪湖ロータリークラブの今後の CLP に役立てた



いと思いますので、よろしくお願いいたします。



CLP に関して私見

諏訪大社ロータリークラブ 山谷恭博

ロータリークラブの活動は、時代・地域の要請
に応じて数々のすばらしい実績が残されており、
今後も価値ある実績を一つ一つ積み重ねていく
事が現在のロータリアンに求められていると考
えています。

一般的に組織も規則も長い間には疲弊し、時代
に・要請に応えられなく硬直化をして仕舞う事は
しかたがなく、クラブリーダーシッププランは時
代に又地域に即応するクラブ、謂わば進化するク
ラブづくりの手法で有ると思っております。何
時、何を取り入れ何を捨てるかはクラブがロータ
リークラブの理念(奉仕と研鑽)を逸脱しない限り
自由であって、更には理念の実践に際して硬直化
を放置し活動の質を落としてはならないと考え
ました。

私はこのように考え CLP に取り組みました。

なお今回の例会で山谷会員からいただきました資料
は大変わかりやすい貴重な諏訪大社ロータリーク
ラブの CLP 実践記録でした。後日、承諾をいただ
いたうえで全文をホームページに記載する予定です。

■ちょっと一休み

本日の例会で蒲地クラブ奉仕委員長がニコニコボッ
クスの報告に先立ち、会長の挨拶に絡めて「ぼくは教育
チョコゴとはお昼ごはんを食べて授業が終わった後のこ
とかとと思っていました」と発言しました。

一瞬シーンとした後で大爆笑！なるほどそれは「教育
直後」いつも変なダジャレを連発する蒲地会員ですが、
周りでは今回は大ヒットと称賛しきりでした。